

年度別集計結 目指す教育効果	2022年度に目指す教育効果											2023年度に目指す教育効果											2024年度に目指す教育効果											2025年度に目指す教育効果														
	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答割合										達成度 中央値				
	回答 数	10	20	30	40	50	60	70	80	回答 数		10	20	30	40	50	60	70	80	回答 数	10		20	30	40	50	60	70	80	回答 数	10	20		30	40	50	60	70	80									
1. 遠隔授業システムを用いて、学生の学修機会を確保し、学修内容の理解度向上を図る	※ 149	78%										70	※ 111	67%										75	※ 86	65%										80	※ 70	60%										85
2. LMS(学習支援システム)等を用いて、事前・事後学修の学修時間を増加し、知識定着と理解度向上を図る	※ 96	60%										50	※ 101	61%										70	※ 83	62%										80	※ 77	66%										80
3. 教員と学生間のコミュニケーションを促進し、主体的な学修の促進を図る	※ 94	50%										60	※ 111	67%										70	※ 88	66%										70	※ 75	65%										80
4. 反転授業やeラーニングを普及させ、知識・技能の定着を図る	※ 79	42%										50	※ 88	53%										60	※ 77	58%										70	※ 63	54%										80
5. アクティブ・ラーニング、PBLなどの学生主体授業を充実し、問題発見・解決力の向上を図る	※ 70	37%										50	※ 86	52%										60	※ 68	51%										68	※ 61	53%										70
6. 教員と学生、学生同士による双方向型授業通じて学修意欲などの向上を図る	※ 81	42%										55	※ 87	53%										70	※ 68	51%										73	※ 62	53%										80
7. 地域社会や産業界と連携した授業を通じて、課題解決力と実践力の向上を図る	※ 28	15%										50	※ 35	21%										53	※ 30	22%										65	※ 27	23%										70
8. グループ学修を充実させ、発表・相互評価を通じて主体性・多様性・協働性の向上を図る	※ 56	30%										60	※ 69	42%										60	※ 55	41%										70	※ 50	43%										75
9. 分野を横断した学びを通じて、知識の組合せ、発想力・構想力の向上を図る	18	10%										30	※ 29	18%										50	※ 22	16%										60	※ 17	15%										65
10. 海外大学との遠隔授業などを通じてグローバル化対応能力の向上を図る	17	9%										50	※ 24	15%										50	※ 22	16%										60	※ 17	15%										70
回答数合計 (※教育効果の項目1~10は複数回答可)	191	※ 達成度の中央値が70%以上は○ ↑										166	※ 達成度の中央値が70%以上は○ ↑										134	※ 達成度の中央値が70%以上は○ ↑										116	※ 達成度の中央値が70%以上は○ ↑													

